

第35回全国スポーツ祭典 第60回全国卓球選手権大会 一般の部 大会要項(全国大会規定必読)

- 主催 新日本スポーツ連盟全国卓球協議会
- 主管 新日本スポーツ連盟宮崎卓球協議会
- 後援 (予定) 宮崎県・都城市
- 大会期日 2025年2月15日(土)・16日(日)
- 開催会場 宮崎県都城市 早水公園体育文化センター
〒885-0016 宮崎県都城市早水町3867番地
TEL(0986)24-6454 FAX(0986)24-6455
- 競技日程 2025年2月15日(土) 団体戦(男子/女子 一般)
* 8時00分開館・受付 * 9時00分開会式
* 9時30分競技開始 * 20時競技終了予定
2025年2月16日(日) 個人戦(男子/女子 一般)
* 8時00分開館・受付 * 9時開会式(注意事項の説明のみ)
* 9時15分競技開始 * 18時競技終了予定
- 実施種目 **【団体戦】**
男子・女子 一般団体戦(1ダブルス3シングルス+ビクトリーマッチ)
メンバー登録は4~8名とし、試合は4~6名で行う。
【個人戦】
男子・女子一般: 年齢制限なし
- 競技規則 1) 現行の日本卓球ルールに準ずる(但しタイムアウト制は採用しない)
2) 予選リーグの順位決定はすべての対戦の勝敗、マッチ得失率(団体戦のみ)
ゲーム得失率、ポイント得失率の順で決定する。決定できない場合は
抽選で決定する。
- 競技方法 1) ダブルスは11ポイント3ゲームスマッチ2ゲーム先取とし、シングルス
は11ポイント5ゲームスマッチ3ゲーム先取制で行う。
2) 団体戦は1ダブルス3シングルスの4マッチとし、3マッチ先取を勝ちと
する。2対2の同点になった場合は**最大8名の登録選手の中から代表を選
びビクトリーマッチを1ゲームマッチで行い勝敗を決する。ビクトリーマ
ッチのオーダーはチームの対戦成績が2-1になった時点で速やかに提
出する。**
ビクトリーマッチは登録選手8名の中から誰が出場してもよいが4番の
シングルスに出場した選手は出場できない。ダブルスに出場した選手は2
番、3番のシングルスに出場できない、同じ選手がシングルスに2度出場
することはできないがビクトリーマッチには出場できる。
3) 団体戦、個人戦とも、ジュース: 10-10になったときから双方が1本
ずつサービスを行い、2点差をつけるか先に13ポイントを得た選手がそ
のゲームの勝者となる。
4) 団体戦、個人戦とも予選リーグ後1位による決勝トーナメントを行う。
5) **団体戦については相互審判とする。個人戦について予選リーグ内は選手間の相
互審判、決勝トーナメントの第一試合はタイムテーブルで塗りつぶしがしてある勝
ち上がりの選手が審判、それ以後は敗者審判とする。**
- 出場資格 1) 新日本スポーツ連盟全国卓球協議会及び都道府県卓球協議会が推薦するチ
ーム及び選手。
2) 2023年度第59回全国卓球選手権大会(群馬県・高崎アリーナ)にお

いて一般団体戦で男女ともベスト4のチーム、個人戦男女ベスト8以上の選手は本大会に推薦される。

3) 各都道府県予選通過者。

4) **団体戦については相互審判とすること、個人戦について予選リーグ内は選手間の相互審判、決勝トーナメントの第一試合はタイムテーブルで塗りつぶしがしてある勝ち上がりの選手が審判、それ以後は敗者審判とすることを了承したチーム及び選手。**

5) 一般と年代別の両方の大会に出場することは妨げない。

11. 試合球 ニッタク (Nittaku) 3スター プレミアム クリーンとする。

12. 表彰 1) 団体戦は3位までとする。(3位決定戦は行わない)

2) 個人戦はベスト8とする。

13. 参加費 1) 団体戦1チーム 加盟 17,000円・非加盟及び加盟非加盟混成 22,000円

2) 個人戦1人 加盟 4,000円・非加盟 5,000円

*参加費にはスポーツ傷害保険料を含む。

14. 申込方法 1) チーム・選手へ

卓球協会のある都道府県からエントリーするチーム・選手は、所定の申込書に必要事項をすべて正確に記入の上、その協会の締切日までに申し込むこと。

申込書・参加費の送付先例各地域協議会で入力してください
宛 先 下

第60回全国卓球選手権大会(一般の部)宛

添付資料

振込先

口座番号

口座名義

(通信欄に都道府県名、チーム名、大会名、を忘れずに記入のこと)

締切日 **(全国提出締切) 申込書提出: 2024年9月30日(月)**

15. 問合せ先 新日本スポーツ連盟全国卓球協会

TEL: 03-5834-8734 FAX: 03-5834-8723 E-mail: zenkoku@stta.jp

16. 組合せ 過去の大会実績をふまえ、主催者側で決定する。

17. 諸注意

1) 団体戦の男女混成チームは認めない。

2) 団体のメンバーの変更は、締切日以降、特別な事情がない限り認めない。メンバーは4名から最大8名まで登録できる。予選通過し申し込みの段階で2名は追加登録できるが、それ以後は追加できない。また大会当日は、不慮の重大な事態がない限り変更は一切できない。メンバー確保が厳しい場合は、最初から8名を厳選して登録することを推奨する。

※9名以上は不可。

3) ゼッケンは縦18cm・横25cm程度の大きさに、氏名、エントリーと同一のチーム名を記入し、各自で用意する。なお、団体戦と個人戦に出場し、エントリークラブ名が異なる場合は、それぞれのゼッケンを用意する。ゼッケンは、大会本部で販売するが試合に入る前に準備すること。

団体戦のユニフォームはできる限り揃える。対戦同士が同じユニフォームになっても着替えの必要はない。

4) 締切日以降のキャンセルの場合、参加費は返却しない。

5) 主催者都合以外の大会中止の場合、参加費は返却しない。

6) 裏面「第60回全国大会規定」をよく読んでおく。

全国卓球協会のホームページ <http://www.stta.jp>

第35回全国スポーツ祭典 第60回全国卓球選手権大会規定 新日本スポーツ連盟全国卓球協議会

はじめに

「スポーツきみが主人公」の合言葉に、「フェアプレーの精神」でルールを遵守する中で競技力と人格を高め、全国の卓球愛好者の目標となる大会のさらなる発展のために以下定める。

A. 全国大会の出場資格について

1. 前年大会の成績による推薦出場

- 1) 一般団体 ベスト4
- 2) 年代別団体 ベスト4
- 3) 個人一般 ベスト8
- 4) 個人年代別 ベスト4

2. 各都道府県予選会通過チーム及び個人

3. 各地域協議会が推薦したチーム及び個人

4. 団体戦については相互審判とすること、個人戦について予選リーグ内は選手間の相互審判、決勝トーナメントの第一試合はタイムテーブルで塗りつぶしがしてある勝ち上がりの選手が、それ以後は敗者審判とすることを了承したチーム及び選手。

B. 大会形式について(予選会・本大会共通事項)

1. 一般・年代別団体戦、一般・年代別個人戦共通事項

- 1) 1ゲーム11本の5ゲームスマッチ(一般の部のダブルスは3ゲームスマッチ、年代別の部のダブルスは5ゲームスマッチ)の予選リーグ後、1位通過チーム及び選手による決勝トーナメント戦とする。
- 2) ジュース:10-10になったときから双方が1本ずつサービスを行い2点差をつけるか先に13ポイントを得た選手がそのゲームの勝者となる。
- 3) 条件を満たせば一般大会と年代別大会の両方に参加できる。

2. 団体戦

1) 一般の部

1ダブルス3シングルとする。(1番ダブルス2番シングルス3番シングルス4番シングルス)

2対2となった場合は最大8人の登録選手の中から代表選手を選びビクトリーマッチを1セットマッチで行い勝敗を決する。1番のダブルスに出場した選手は2番3番のシングルスに出場できない、シングルスに2度出場することはできない。4番のシングルスに出場した選手はビクトリーマッチに出場することはできない。

ビクトリーマッチのオーダーはチームの対戦成績が2-1になった時点で速やかに提出する。

2) 年代別の部

1ダブルス2シングルスとする(1番ダブルス2番シングルス3番シングルス)

1番のダブルスに出場した選手は2番のシングルスに出場できない。1番のダブルスは5ゲームスマッチとする。

3. 個人戦

- 1) 共通事項に準ずる。

C. 予選会について

1. 共通事項

- 1) 出場できる都道府県予選は1ヶ所とする。

2. 卓球協議会のある都道府県で開催される場合

1) 団体戦

- ① 加盟登録チームは登録した都道府県の予選に出場する。
- ② 非加盟のみのチームおよび、加盟員と非加盟員との混成チームは、当該都道府県に在住・在勤・在学の選手で半数以上のメンバーで構成され、その都道府県の予選に出場する。
- ③ 他の県の選手とチームを編成することが出来る。その場合、卓球協議会のある都道府県の選手とも編成できるが、他の県の選手がチームの半数以下であること。
- ④ 団体戦の年代別に出場の場合は、その該当する年代のクラスに出場する。ただし、年代が混合する場合は最年少者の年代のクラスに出場しなければならない。

2) 個人戦

- ① 加盟登録者は登録した都道府県の予選に出場する。
- ② 非加盟者は在住・在勤・在学の都道府県に出場する。

3. 卓球協議会のない都道府県で開催される団体戦の場合

1) 団体戦

- ①予選会を行う当該県に在住・在勤・在学の選手を必ず一人はチームに加える。
 - ②本大会と大会形式が異なる場合、選考基準を明確にしておく。
- 2) 個人戦
- ①本大会と大会形式が異なる場合、選考基準を明確にしておく。

D. 本大会について

1. 団体戦

1) 共通事項

予選会に出場した選手は、本大会出場のため他チームの追加登録選手になることはできない。
ただし、同一クラブで複数チーム参加の場合は除く。また、申込締切日以後のメンバー変更は特別な事情のない限り認めない。

2) 審判について

団体戦については相互審判とする。個人戦について予選リーグ内は選手間の相互審判、決勝トーナメントの第一試合はタイムテーブルで塗りつぶしがしてある勝ち上がりの選手が、それ以後は敗者審判とする。

3) オーダーミスについて

試合開始前、オーダー交換時にミスに気が付いた場合はオーダーを提出しなおすことができる。試合開始後に気が付いた場合は該当対戦のみゲーム数0-3の敗戦としポイントは各ゲーム0-11のポイントとする。(ビクトリーマッチは0-1の0-11)
対戦が終了し確認のサインがされた対戦成績は確定する。

4) 一般の部

予選会に出場した選手を半数以上必ず登録すること。
登録選手は8名までとする。ただし、他の都道府県の予選に出場した選手を追加することはできない。

5) 年代別

予選会に出場した選手を半数以上必ず登録すること。
登録選手は5名までとする。また、他の都道府県の予選に出場した選手を追加することはできない。

2. 個人戦

卓球協会のある県から参加する選手は、その地域で開催された予選会を通過すること。卓球協会のない県から参加する選手は、その地域で開催された予選会を通過するか、予選会担当県の推薦を受けたその地域在住、在勤、在学の者でなければならない。

E. 規定違反について

1. 大会前に違反が判明した場合、チーム及び選手は本大会に出場できない
2. 大会の予選リーグ中に判明の場合、予選リーグ中はオープン試合とし、決勝トーナメント中に判明した場合、その試合は中止する。大会終了後に判明した場合は、その成績を無効とする。
3. 大会終了後も含めて規定違反が判明した場合、登録チーム全員および個人は次大会には出場できない。

F. ランキング及び次大会シード順について

1. ランキング及び次大会シード順は、当該大会役員で構成されたメンバーで決定する。
2. ランキングは全国大会での成績順とし、一般団体はベスト16・年代別団体はベスト8・一般個人戦はベスト16・年代別個人戦はベスト8までとする。
3. 上記2.を基本に次大会のシード順とする。第1~4シードは同一都道府県の対戦を考慮しない。第5~8シードは同一チームの対戦を配慮する。第9~16シードは同一都道府県の対戦を配慮する。不参加があった場合は、順位を繰り上げとする。
4. 年代変更によるシード順は、それぞれの前回年代シードを上位とする。
(例:Aで優勝し次大会Bに出場の場合、ランキングは2位となる。)
5. 過去の全国大会での成績は、2大会前までを考慮する。
6. 全国卓球協会の推薦チーム及び選手のシード順等は上記1.で決定する。

G. その他

1. 出場した選手は、エントリーしたチーム名の入ったゼッケンを着用すること。
2. 団体戦のユニフォームは揃えることが望ましいが、それを参加資格の条件とはしない。
3. ユニフォーム等の基準は日本卓球協会のルールに準ずるがそのマーク入りを参加資格とはしない。

2010年4月1日規定
2014年10月18日一部改定
2015年2月28日一部改定
2018年6月10日一部改定
2019年2月22日一部改定
2022年3月14日一部改訂提案
2022年4月18日一部追記
2023年3月20日一部改訂
2024年5月14日一部改訂

第60回全国卓球選手権大会

一般団体戦申込書(年齢制限なし)

男子 女子 (○で囲む) 2025年2月15日(土) 宮崎県都城市 早水公園体育文化センター

都道府県名	フリガナ	
	チーム名	
フリガナ	携帯	
代表者名	TEL	
	FAX	
代表者住所	〒	

団体戦登録メンバー

監督名			特記事項 (履歴等)						
<p>(1ダブルス、3シングルス・1チーム4~8名) 特別な事情がない限り締切日以降の変更、追加はできません (生年月日は西暦で、年齢は2025年4月1日における満年齢、カットマンは氏名の前に○を記入してください。)</p>									
団体戦メンバーの情報				個人戦の戦績					
①	フリガナ	加・非	年齢	才	在学勤県	個人戦出場	年開催	大会	位
	氏名	カット	年 月 日生				出 否	年開催	大会 位
②	フリガナ	加・非	年齢	才	在学勤県	個人戦出場	年開催	大会	位
	氏名	カット	年 月 日生				出 否	年開催	大会 位
③	フリガナ	加・非	年齢	才	在学勤県	個人戦出場	年開催	大会	位
	氏名	カット	年 月 日生				出 否	年開催	大会 位
④	フリガナ	加・非	年齢	才	在学勤県	個人戦出場	年開催	大会	位
	氏名	カット	年 月 日生				出 否	年開催	大会 位
⑤	フリガナ	加・非	年齢	才	在学勤県	個人戦出場	年開催	大会	位
	氏名	カット	年 月 日生				出 否	年開催	大会 位
⑥	フリガナ	加・非	年齢	才	在学勤県	個人戦出場	年開催	大会	位
	氏名	カット	年 月 日生				出 否	年開催	大会 位
⑦	フリガナ	加・非	年齢	才	在学勤県	個人戦出場	年開催	大会	位
	氏名	カット	年 月 日生				出 否	年開催	大会 位
⑧	フリガナ	加・非	年齢	才	在学勤県	個人戦出場	年開催	大会	位
	氏名	カット	年 月 日生				出 否	年開催	大会 位

※ 裏面(次ページ)も記入ください

団体の実績

推薦地域(ブロック名や都道府県名を記入する)			
都道府県予選の実績	県予選大会	位	
3年以内のスポーツ連盟の全国大会実績等	年開催	大会	位
	年開催	大会	位
その他の全国レベルの大会の実績 全日本、マスターズ、社会人等	年開催	大会	位
	年開催	大会	位
その他の実績	年開催	大会	位
	年開催	大会	位
	年開催	大会	位
	年開催	大会	位

注意

- ①本種目は1.男子団体、2.女子団体の2クラスです。

- ②新日本スポーツ連盟の都道府県卓球協議会のある地域の方はその指定された申し込み方法で手続きする。
そのほかの方は、予選主管の卓球協議会へ申し込む。

- ③在住学勤県の欄には在住、在学、在勤の県を書く。
申込の都道府県の選手が半数以上いることが条件となる。

- ④加非の欄は加盟(加)か非加盟(非)に○印をつける。加盟者は下段に登録都道府県名を記入してする。

参加費	加盟:17,000円 非加盟及び加盟非加盟混成:22,000円	金額		円
-----	------------------------------------	----	--	---

受付都道府県チェック欄	
No.	
金額	
受付日	
支払方法	現金 ・ 振替
受付者	

全国チェック欄	
No.	
金額	
受付日	
支払方法	現金 ・ 振替
受付者	

第60回全国卓球選手権大会

一般個人戦申込書(年齢制限なし)

2025年2月16日(日) 宮崎県都城市 早水公園体育文化センター

都道府県名

男子 女子 (○で囲む)

カットマンは氏名の前に○印を付けてください

フリガナ	カット		フリガナ	
選手氏名			所属名	
加盟の場合 登録都道府県			非加盟の場合 在住、在学、在勤都道府県	
参加費	加盟:4,000円 非加盟:5,000円		金額	円
生年月日(西暦) 年齢は2025年4月1日現在の満年齢		年	月	日生まれ
				年齢 才
携帯:	TEL:	FAX:		
住所	〒			
都道府県予選の実績		都道府県予選大会		
3年以内のスポーツ連盟の全国大会実績		年	大会	位
その他の全国レベルの大会の実績 全日本、マスターズ、社会人等		年	大会	位
		年	大会	位
		年	大会	位
監督もしくは アドバイザー名				

注意事項

- ①申込書1枚につき、1名のみ記入。
- ②選手氏名、所属名には必ずフリガナを記入。
- ③戦績の欄は必ず記入する。特に初出場の方は「その他の全国大会」の実績を必ず記入する。
- ④スポーツ連盟の都道府県卓球協会のある地域の方は、その指定された申込み方法で手続する。
その他の方は、予選開催主管県卓球協会へ申込む。

受付都道府県チェック欄	
No.	
金額	
受付日	
支払方法	現金・振替
受付者	

全国チェック欄	
No.	
金額	
受付日	
支払方法	現金・振替
受付者	

備考欄